

質疑応答及び要望について

質 問

	内 容	回 答
1	現在の中学校の敷地内に小学校を造るの ですか？	中学校の敷地を利用し、造る構想です。
2	体育館は共有するのですか？	今後建物などの詳細は検討していくことになりま す。現在、校庭や体育館などは共有で使っていく ことを考えています。
3	中学校には現在、遊具はありません。ま た、体育の授業を考えると、体育館の割振 りや、小学校は45分授業、中学校は50分 授業と授業時間も違うので調整が難しい のではと考えます。	全国で小中一貫校についてのカリキュラムなどに ついては研究がされており、その結果を取り入れて いきたいと思えます。遊具については、子どもたちの 遊び場を配慮したいと考えています。
4	適正規模等検討委員会の答申から、4校 を1校にすることにした理由はなぜで すか？	複式学級の早急解消や児童数の状況、教育内容 の充実などを考え、当面2校にし、最終的には1校に したいと考えています。
5	神川中学校が現在の場所にあるという理 由以外に、中学校の敷地内に小学校を建 てようと思った理由あれば教えてください。	小学校と中学校がまとまっている併設型の小中一 貫校を考えています。神川町は農振地域の農地が 多いため、新しい土地に学校を建てるのは難しい状 況です。そのため、中学校で現在使用している土地 を活用していくのが良いと考えています。
6	学習指導要領が「10年前はこうであ った」、「現在の状況」、「10年後はこうなる であろう」というのが分かったら教えてください。	以前は知識の習得型で教科書に書いてあること を先生が児童に教え、児童はそれを覚えていくとい う教育の方法でした。今は、「主体的で対話的で深い 学び」が求められています。児童が自分の考えで タブレットなどを使い、グループの仲間と相談したり、 意見を出し合ったり、資料を集め発表を行ったりとい うような方法です。それを行うには、一定の人数が必 要です。
7	小学校での PTA 活動や運動会は中学校 と一緒に行うのですか。	学校の行事の実施方法など詳細についてはま だ、決定していません。今後検討することになりま す。また、1校あたりの保護者数が増えることで、PTA 活動等の保護者負担は少なくなると考えています。
8	資源回収、登下校パトロール、地域と学校 の連携や PTA、育成会等団体と学校の連 携が変わっていくと思われます。町として、 行政として学校との対応はどう考えていま	パトロールをしってもらうことで子どもたちが地域に 愛着を持てたり、子どもたちが地域と交流を持つこと で高齢者が生きがいを持ってかかわっていく場所や 空間が必要だと思っています。小学校を1つにする

	すか。	ことで、連携のやり方が変わるかもしれないが、これからどういう形をとるのか考えていく必要があります。地域の人たちや皆さんからの意見を取り入れながら子どもたちの人間的な成長、地域への愛着、高齢者と子どもの交流を図っていく必要があると思います。
9	統合した学校の跡地利用はどう考えていますか。	現在の時点では決定しておりません。災害時の避難所や地域の社会体育の施設として利用していることも加味しながら決定していかなければと考えています。
10	スクールバスを中学生も利用できるようになるのですか？	現時点では、交通手段についてスクールバス限定で検討しているわけではありませんが、スクールバスになった場合として回答します。現在の中学校の場所に一貫校を設置した場合、徒歩4キロ以上の小学生についてはスクールバスでの対応が望ましいと考えます。中学生は現在、徒歩や自転車で通学しています。部活動などもあり、帰る時間がまちまちであるため、中学生のスクールバス利用については検討が必要です。小学生も高学年の児童は自転車で通学できないか、部活をしないときは中学生もバスを利用できないかなど意見を聞き取りながら検討していきます。
11	4校を1校にした時、各小学校に勤めていた教員のケアや対応はどう考えていますか。	受け入れてもらう市町村や県と調整をはかり、教員の気持ちも聞き取りながら丁寧に対応していかなければと考えています。
12	統合したことで削減した費用の活用について、どう考えていますか。	今のところ、決まっていません。現在も子どもの授業のために使用するソフトなどを支援しているので、授業活用や、学校の先生以外の力を借りたい事業（理学療法士と保健師での巡回相談や発達障害の専門家との巡回相談など）に利用できたらよいと考えています。しかし、町全体の予算の中での検討が必要になります。
13	小学校と中学校の始まる時間や授業の時間に違いがあるので、小中一貫校の設置は難しいのではないですか。	メリットが大きいという考えで小中一貫校を設置する市町村が増えています。更に検討しながら進めていきたいと思っています。
14	小中一貫校となると、現在でも仕事が多い教員の負担がさらに多くなると思います。この地域に小中一貫校が必要なのかということについて教員の意見を取り入れて判断してほしいと思います。	現場の意見を聞くことは大切ですが、子どもたちのことや施設の状況など様々な点を考慮し、小中一貫校が良いと考えています。教員、保護者などから意見を聞きながら調整すべき部分は調整し、小中一貫校の設置を進めていきたいと思っています。

15	学童の場所等の変更予定はあるのですか。	現在のところ言えることはありません。しかし、学童は自宅に近いところにあるのが好ましいという考えもあると思います。今後検討が必要だと思います。
16	適正規模等検討委員会8回の会議の中で、子どもたちの意見を聞く機会がありましたか。	学校を見学して話し合いは行いましたが、直接子どもたちから話を聞くことはしていません。
17	メリットのことばかり書かれていますが、デメリットも教えてください。	<p>実際に一貫校として運営している学校の中で、76%は一貫校にして良かったと言っています。100%ではないので当然デメリットもあると思います。行事を行う中で、保護者が一斉に集まり、学校への出入りが混雑することや、家から学校が遠くなることもあるので、朝、家から出る時間が早くなることなどが考えられます。こうしたデメリットの解消についても考えていきたいと思っています。</p> <p>一貫校とすることで中1ギャップや不登校問題などを解消することができるのではないかと考えています。</p>
18	学校がひとつになるということは、現在の学校がなくなることです。子どもの声が聞こえなくなり、地域が寂しくなります。それがデメリットではないですか。人口が減少していくことが示されているが、町として、人口を増加していくことは考えていないのですか。丹荘保育所、認定こども園についても保護者の中には不満が残ってしまった経緯があります。	<p>町の人口減少の問題はあります。町の人口を増やしたいと考えています。しかし、現状として、県内で人口が増えている町村は滑川町のみです。滑川町の背景を探ると、民間の会社が協力し、駅をつくり、人口が増えています。国全体として、未婚者も多く、出生数も減少しています。こうした現状の中、当町では、子育て支援、給食費無償化などの取り組みを行っています。子育て支援策等を充実させて、町の人口増を目指していますが、反面、高齢化も進み、介護・医療等様々な問題が重なり、町としても厳しい状況にあります。65歳以上の人口は33%、3分の1以上となってきています。他の町からも神川が良い町と感じてもらい、来ていただけるような町にしていきたいと思っています。現在、人口減もゆるやかになっており、そうした対策をさらに推進し人口減少に歯止めをかけたいと考えています。</p> <p>当町では、少子高齢化対策等の事業を継続して行ってきました。これは多くの自治体が直面している問題です。特色のあるまちづくりを今後も引き続き継続して行きたいと思っています。子どもたちに安全な施設をつくるという観点を大切に、新しくなった丹荘保育所に続き、青柳保育園、神川幼稚園についても安</p>

		<p>全に過ごせる場所にしていきたいと考えています。</p> <p>学校がなくなっていく寂しさは誰もが持つと思います。しかし、一番に考えなくてはならないのは子どもの教育だと考えています。現在も子どもは減っており、町内には現在複式学級もあり、人数が少ない中で、学習指導要領に示されている身につけさせたい力を子どもたちにつけさせることが難しくなっているという状況があります。それを実現するためには、ある程度のクラスの人数が必要です。そして、子どもたちが協力して学び合う、協働学習が必要です。まずは自分の考えを持ち、お互いに意見の交換をする。そして、それをなるべく大勢の子たちの前で発表するという、ユニット学習を進めてきました。そうした学習をさらに進めるためには、学校をひとつにして、人数を確保していく必要があります。6年後には、小学校は1学年2クラスで足りる人数になります。4つの小学校を仮に残すと少人数での学びが続く状態になります。できるだけ早く学ぶ環境を整えてあげることが必要だと考えています。</p>
19	<p>学習指導要領の中の学びの部分も分かるが、町の中の学習の進め方等もないといけないと思います。私の子どもは10年後に小6になります。その際の連携についてはどうなるのですか。1年生から統合した学校に通うのか、全ての子どもが一斉に転校するのかなど、戸惑いが生まれてしまうのではないですか。</p>	<p>町として、小中一貫校のあり方について、検討委員会などを立ち上げていく必要があると考えています。教職員や子どもの意見に耳を傾けて、検討していく必要もあります。統合については、全学年が同時にひとつの学校に集まれるようにしていきたいと思っています。そのためには細かな点についてもっと深く検討し、サポートしていく必要があると考えています。子どもたちが戸惑うことのないよう、スムーズに移行できるような方法を考えなければなりません。これからも先進校の取り組みを研究していきたいと思っています。</p>
20	<p>人口減を前提として進めているが、町としての取り組みは進めているのですか。</p>	<p>全国でも人口が増えている市町村は少ない状況です。県内でも人口が増えている町村は滑川町くらいで、これは民間による住宅団地等によるものです。町では小中学校の給食費の無償化や子育て支援のためにマンパワーを充実するなどして、魅力ある町にするよう取り組んでいます。</p>
21	<p>小中一貫校にするのであれば、幼児教育・保育園・学童・病児保育等、もっといえれば高校なども同じ場所に設置してはいか</p>	<p>人口減少への歯止めと小学校の適正配置を同時並行で進めていくわけですが、その中で併設型の一貫校の設置を目指しています。県北地域にはないよ</p>

	がでしょうか？そうすれば、先進的で魅力的な地域としても注目されると思います。	うな学校を作りたいと思っています。幼稚園、保育所、学童など総合的に設置してはどうかというご意見も参考にしながら検討していきたいと思っています。
22	人口減は仕方ないが、都市部への流入など、魅力あるところへ人は流れています。神川には魅力がなく、流出が止まらない現状があります。神泉と渡瀬の合併の話が出たときに、スクールバスの予算がつかないということになりました。一人でも良い教育は受けられるはずなのに問題になっているのは、予算を確保できないということなのですか？	人口減への取り組みのPRが足りなくて申し訳ありません。給食費無償化は県内5市町村のみで、町は0から2歳の子育て支援も積極的に行っています。フィンランドの教育なども研究しています。人口の流出についても、冬桜等の観光資源を使って、流出に歯止めをかけるための取り組みを行っています。幹線道路等の誘致も進めていますが、県も予算上厳しい状況のようです。新幹線や高崎線沿線から離れているため地理的な不利はあります。 予算の件ですが、町の税金などで出来る範囲で、町にとって大切なことが出来るよう、予算の編成について検討しながら進めていけたらと思っています。
23	各学校の児童数の推移がありますが、学年1名の場合複式を解消したらどのようになるのでしょうか？	複式学級の定義について確認させていただきます。例えば渡瀬小では2・3年、4・5年が16人以下のため、複式の形をとっています。複式は、2学年まとめて勉強しなければならぬので、どうしても不都合が生じます。複式を解消できたら、グループで話し合ったり、他の意見を聞いたり、質問したりして、学習を深めることができます。学習指導要領でも今それが一番求められています。子どものためにその環境を作ってあげたいという思いがあります。
24	実際にクラスが1人や2人となった場合にはどうなるのですか。社会科見学や修学旅行にもいけるのですか。	1人、2人になる前に統合して集団を作り、その中で子どもの力をつけたいと考えています。そのために、第1段階として青柳小学校への統合を考えています。昨年の出生数も町全体で50人を切り、1学年が2クラスでまかなえる状況です。
25	区域外の学校に入学する場合、手続き上の簡素化は可能ですか。	いろいろな決まりや条例等、検討しながら考えていきたいと思っています。
26	少人数だからこそ、良い環境というものもあります。たしかに学力について考えれば、統合が望ましいと思います。しかし、義務教育後を考えるとうどうなのか。昔は心を育てることを大切にしていたが、今は働き方改革で教員を楽にしようと考えています。現在、神川中でもいじめがあります。そうした際に、弱者を守るための方法はあるので	人数が少なくても良い教育が行えるのはそのとおりであり、もちろん学力を高めることだけを目指しているわけではありません。現在小中学校で膝つき清掃（雑巾がけ）を行い心を磨いていますが、おっしゃったとおり、心を育てていくことが大切です。働き方改革は、教員に楽をさせるために導入されるわけではありません。世界的に見ても日本は異常なくらい教員の労働時間が長く、過労死ラインをはるかに超え

	すか。また、スクールバスについて、何台配置するのですか？予算はいくらとってあるのですか？	て仕事をしているため、これを適正化していこうという考えです。こうした中で、子どもたちとしっかりと向き合えるようにしていくことが課題です。 スクールバス等の方法については、子どもたちが困ることの無いよう検討を進めていきます。内々ではシュミレーションもしていますが、今後の人口等の増減に合わせて考えていきます。
27	この計画については、逐次、進捗状況は報告していただけるのですか。また、説明会の開催もありますか。	広報やホームページを通じて周知していきたいと思っています。説明会等については、必要に応じて考えていきます。
28	埼玉県は一番小さい規模の市町村が多く、非常に厳しい財政状況があるらしいというのを聞いたことがあります。費用対効果を考えた施策について、考えがあればお知らせください。	小さい町の厳しい財政状況はそのとおりです。町の合併等についても、今はそうした話はありません。近隣の首長が連携しながら、よい方向へ進めたいとは考えています。
29	なぜ10年後でなければできないのですか？もっと早く実現することはできないのですか？10年をかけている余裕はないのではないのですか？横浜で統合を経験しましたが、統合前は不安が大きかったが、実際はそんなことはありませんでした。5年後くらいを目途に進めていければよいのではないのですか？	小中一貫のカリキュラムや建設の計画等に時間がかかるのは事実です。しかし、10年を目途としていますが、できれば早く進めたいと考えています。また、文部科学省の調査でも「一貫校をやってよかった。」というのは76%と満足度も高くなっています。地域の特色を大切にして、一貫校を進めていきたいと考えています。
30	複式は問題があるのですか。本来の複式学級でよいのではないのですか。	例えば5・6年生で、道徳の授業において縦割りで意見交換ができたりすることもあります。しかし、授業時数には定めがあり、年間でその時間内でその学年の教育課程を終了しなければなりません。完全に複式学級となると、教師が一人で2学年の授業を進めなければならないため、授業の進み方がどうしても遅くなってしまいう傾向にあります。おそらく完全な複式であれば、コロナで休校になったときも対応できなかったと思います。図工等の教科によっては一緒にやることも可能かと思いますが、国語、算数などの5教科等は難しくなります。
31	複式学級は悪いというイメージの言葉が並んでいます。中学に進学したときのデメリットとは実際何ですか。事実として複式学級で不登校等の問題があったのですか。	渡瀬小も神泉小の児童も、中学進学時に同じクラスになるように配慮しています。今まで少人数で生活していた子どもが、急に集団に入ったときに、中1ギャップ、いわゆる戸惑いが生まれ、人間関係がうまく形成できない場合があります。具体的な事実について

		<p>ては、正確には言えませんが、全国的に中1ギャップの数がとても多い状況です。</p>
32	<p>複式学級で社会性や人間性は高められないのですか。現場の校長に聞きたい。タブレット・スマホなどによる情報交換による問題もあるがそうしたものを活用してはどうですか。</p> <p>町費の職員がいないと学校は成り立たなくなるのですか。先生という職業が人気がないのであれば、現場が楽しくなるような環境づくりを行うべきではないですか。</p> <p>仮に10年後に統合するのであれば、それまでいい運営をしていただきたいです。</p> <p>5ページの児童数の推移で子どもの減少が書かれているが、適正な校舎等は作れるのですか。</p>	<p>様々な考えがあり、小規模校を残すという考え方もあってよいと思います。小学校適正規模等検討委員会の時からお話していますが、学習指導要領にもあるように、10年後、変化の激しい未来に向けて必要な力を身につけさせる必要があります。その中のひとつとして、自分で意見を持ちながら、周りの仲間と意見を交換して、タブレットなども使用して、すり合わせながらより良い考えを出すことなどが求めています。そうした協働学習による学びの効果は検証されており、それを実現するためには、どうしても人数が必要となります。できるだけ早くそれを実現してあげたい。神川町の小学生の学力は、埼玉県在全市町村の中で1位となりました。実際、丹荘小学校の子どもたちも、学び合うことに満足感を感じています。とにかく、子どもたちがこれからの社会を生き抜いていく力を身につけさせていきたい。また、魅力ある教師を育てるために、その教育はしっかりやっつけなければならぬと感じています。神川中では、ヤマキや日本薬科大と連携し、商品開発等につなげる新しい取り組みなども行っています。教員はもちろん、外部の力なども借りながら、学校を開いて、そうした環境づくりに努めています。校舎については、小中を繋いで、小中連携型の校舎を目指していきたいと思っています。小中を一貫とすることで、小中の接続や中1ギャップの解消に繋がります。スクールバス等も出しながら、対応していきたいと考えています。</p>
33	<p>話し合いながら問題を解決していくことは素晴らしいことだと思います。1～6年生みんなでもそれは実現できるのではないですか。長女が1年生となり、少人数のメリットをすごく実感しています。そうした意見をもっている方もいると思うし、学校を選択できるような制度は可能なのでしょうか。また、子どもたちの教育に関する費用は節約しないしてほしいです。</p>	<p>少ない人数で授業を行ったときには、一人ひとりに関わる時間も増え、その教育の良さはあると思います。昔は知識の伝達、先生中心型の講義型でしたが、現在は、子ども中心の双方向のコミュニケーションが大切です。楽しくて、子どもが伸びるという結果も出ているユニット学習を推進していきたいと考えています。完全複式だと事務職員も置くことが難しく、教職員の負担も増えてしまいます。</p> <p>子育てへの支援としては、小中学校の給食費無償化を約4,000万円の経費をかけて行っています。</p>

		保健師の配置も充実させて、きめ細かく対応できるようにしています。0歳～2歳までの保護者への子育て相談、ランリュック・ヘルメット補助、18歳までの医療費無償化、子育てアプリ、第3子への支援金等のアピールも今後、更に行っていきたいと思います。人口の自然増は極めて難しいが、できる限り町を盛り上げていけるように考えていきたい。高齢者への支援や政策も進めていかなければならないと考えています。
34	丹荘小・青柳小と引越しをして経験してきましたが、神泉小は自分の子どもにあっていて感じます。少人数の学校に通う経験ができて本当によかったと感じます。「人として」の部分大切にしたいです。今の子どもたちを見ると余裕がないように感じます。色々な選択肢を与えていただけたら一番ありがたいと感じました。統合については、特に高学年の繊細な時期の子どもについては、丁寧なケアをお願いしたいです。	成績のことだけでなく、子どもたちが楽しく学校へ来て、一日の大半となる授業を楽しく受けられる環境を作りたいということがベースにあります。将来子どもがやりたい職業に就かせてあげられるようにしてあげたい。そして「人間性」や「学力」は切っても切り離せないものだと思います。町では幼稚園等で、子どもの心を育てるために、各家庭に本の貸出を行い、家での読み聞かせを進めてきました。来年度から特別の支援が必要な子どもに向けてサポートできるソフトを導入するなど、様々なタイプの子どもの支援しながら、子どもたちの心も合わせて育てていきたいと考えています。
35	人口ビジョンを見るとそのまま学校を作ったとしても、20年後には厳しい状況になってしまうのではないですか。先程の学力ナンバー1ということのように「この地域は、どこにも負けない」というものを神川にも作って欲しいです。	20代、30代などの方などに来ていただけるよう、より一層の支援を行っていきたいと思います。コテージ跡地やフィッシングパークなど、民間の会社もいれながら取り組みを行っていきたいと考えています。国や県の予算も活用しながら、特効薬はないが、人口増に向けて、町民の方からも意見をいただきながら施策を練っていきたいと思います。
36	複式学級の早期改善について、2年以内ということについて、今後の流れについて教えてください。	渡瀬小の説明会で、これから小学校に入学する保護者の方から、青柳小に統合するのであれば最初から青柳小に行かせたいという話が出ました。そうした意味でも時期をはっきりさせる必要があります。もちろん2校が同じ時期かもしれないし、違う時期かもしれませんが、話し合いながら早期に解決していききたいと思います。
37	複式学級の解消が2～5年ということは、その段階でこの学校がなくなるということですか。	これから人口が減少する中で、当面2校、最終的に1校という形が望ましいと考えています。渡瀬小と神泉小の青柳小への統合の時期については、それぞれの実態に合わせて進めたいと考えていますが、

		5年以内には統合していきたいという考えです。
38	この地域のコミュニティを考慮して、統合についても考えていただきたい。教育や学校も大切だが、子どもが育ってきた地域も非常に大事です。	<p>学校がなくなったとしても、その跡地利用や、地域の方の心のより所となるような施設等についても考えていきたいと思います。</p> <p>跡地の利用についても、なるべくその可能性を大きくするために、時期を明確にしていくことが大切です。</p>
39	小規模校の良さをもつ神泉小を残すという選択肢はないのですか。	最終的には1校にしたいということですが、2～5年を目処に2校にしたいとを考えています。しかし、その過程や方法については、研究しなければならないと考えています。

要 望

	内 容
1	子どもがいる世帯は、日曜日など、説明会等に参加できない人がいる。参加希望している方に YouTube などライブ配信してもらえたら、家でも見るできるので、今後検討をお願いしたい。
2	町として、今の子どもたちのことだけを考えるのではなく、子どもたちが大人になったとき、どんな町が良いのかということも考えてもらいたい。
3	スクールバスを利用することになると、これまで子どもたちが通学路を歩きながら町のことを見て学んできた時間が無くなる。町(地域のこと)を知ったり、愛着を持つような事業を考えて欲しい。
4	子どもたちが大人になったとき、若い人たちがこの町に戻りたい、住みたいと思う町にしてほしい。
5	天候の悪い日に保護者が子どもを送り迎えする際、駐車場等が混雑することのないよう検討してもらいたい。
6	夏の暑い日、通学距離が長い子どものことを心配している方がいる。バス通学は安心できるのでお願いしたい。
7	方針の中で「施設への集中投資を実現するとともに」の欄に記載されていた、小学校にだけ集中投資をするのではなく、小学校卒業後中学校にも通うことになることも考えて、中学校にも投資をしていただきたい。
8	小学校を1つにした時、途中で各小学校から中学校内の新しい小学校に転校してくることになる学年も出てくると思うので環境の変化に対応できるようケアをしてほしい。
9	不登校などの不安や問題を抱えた子どもたちが、急に統合することについての変化や不安や戸惑いをもたないように支援していただきたい。統合による不登校が生じる可能性も十分に考えられる。統合がうまくいかなかったような点もよく調べていただいて、そうならないような対策を講じてほしい。
10	学校は地域の関わりの中心となっており、保護者が地域の方同士、力を合わせてがんばっていく姿を見せることが大切だと思う。また、学務課だけでなく、そうした関係のある課も含めて考えていただきたい。地域にはどんな学校でもあった方が良く思う。
11	「小さい学校だってあっていいんじゃないか」と思うが、町としてしっかりビジョンを示した後にこうした会議をもっていただきたい。
12	子育て世代の人たちは、区長経由の回覧等だと忘れてしまうので、保育所や幼稚園を経由したチラシ等を配布したり、園の掲示板に貼るなどしたほうが参加者が増えると思う。
13	子どもを預けないと参加できない人もいるので、会場におもちゃを置くなどして子どもを連れて参加できると良いのではないかな。